

ACPC 2021 day3

F - A2B

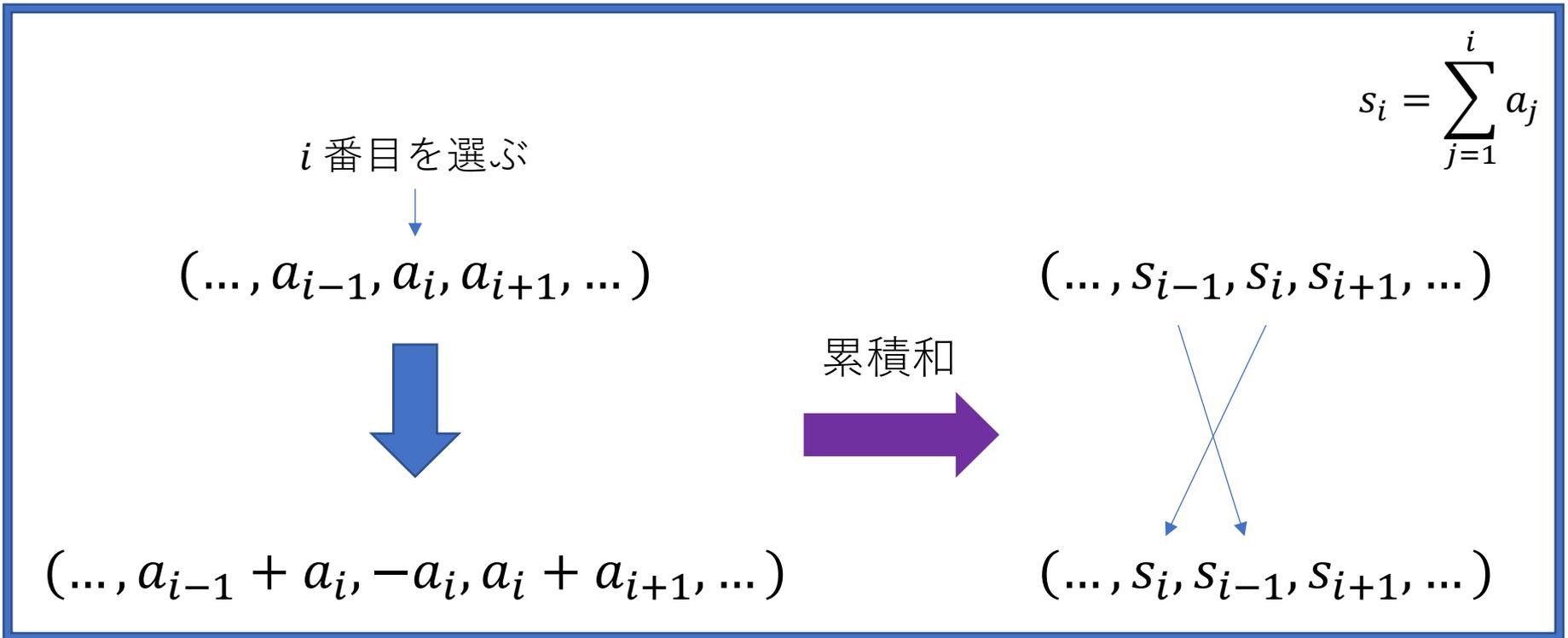
解説

原案 TAB

解説 TAB

考察

操作前後の列の累積和を比較してみる



i 番目に対する操作は累積和において
 $i, i-1$ 番目のスワップに対応する

解法

入力の累積和をとった数列を A', B' とすると、
 A' の隣接する要素をスワップして B' にするために
必要なスワップ回数を求めれば良い

これは Fenwick Tree などを用いることで $O(N \log N)$
解くことができます